

今年の夏

白鷗中学校 二年 鹿倉 明莉

今年の夏は、去年に比べてとても暑く感じる。毎日、テレビでも暑さに関するニュースを目にする。私は去年、暑さをしのぐものをあまり買わなかったけれど、今年は汗ふきシートや体温を下げるタオルなどの冷感グッズを気づけば沢山購入していた。しかし、買ってはなお、暑いと感じた夏であった。

私は、去年まで熱中症とは自分は無縁のものと思っていたが、今年初めて熱中症になった。私のように、無縁と思っていた人が、熱中症になってしまう例が今年が多いようだ。また、その人数は去年の3倍ほど増えており、全国では、救急車で運ばれてしまった人数は6日間で約9千人もいたようだ。

私は、部活を行っている中で、「あれ？今年ってこんなに暑かったっけ？」と思うことが多かった。去年はエアコンがついていない部屋でも練習ができていたのに、今年は部屋に入るだけで汗が吹き出すほど暑く、とても練習できる環境ではない。同様に、私の学校には理科室にエアコンがついていない。去年はどうか理科室で授業ができていたが、今年は暑すぎて授業を受けられる状況ではなかった。なので、今年はほとんどがエアコンの効いた教室で受けた。

このように、去年はなかったようなことが今年は起きている。なぜこんなにも暑くなってしまっているのか。私なりに考えてみた。

原因として、1つは「エルニーニョ現象」というものが考えられる。これは、太平洋赤道域の海面水温が1度以上高くなり、それが1年以上続く現象のことを指す。この現象が発生した翌年は、地球全体の気温が高くなると言われている。つまり、この気温上昇は、「エルニーニョ現象」が関わっていること分かった。2つ目は、「人為的な気候変動」です。これは、人間がする行動によって引き起こってしまう気温の変化のことを指す。例えば、二酸化炭素の排出や、化石燃料の使用などが、これにあたる。生きていく上で二酸化炭素は、どうしても出てしまうが、その中で私たちができることは、排出の減量であると考ええる。また、私たち一人ひとりにできることで減らせるならば、どんなことでも協力していきたい。

このように、熱中症患者の増加や、今年の暑さの原因には、環境が引き起こすものと、私たち人間が引き起こすものが考えられる。環境が引き起こすものは中々改善するのは難しいと思うが、前者でも述べた通り人の行動は意識すれば改善できると考える。このまま温暖化が進めば、2050年には世界の平均気温が47度になってしまう予想が立てられている。また、異常気象、台風の増加も懸念される。私たちが住んでいるこの地球。私たち人間の未来のためにも、環境への心がけは大切にしよう。